

# 2023年度 事業報告及び附属明細書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

公益財団法人 同盟育成会

# 2023年度 事業報告

## [I] 事業の状況

### 【学寮事業】

#### 1. 入寮状況

##### (1) 2023年度の新寮生

2023年度は男子13人、女子17人の計30人が入寮した。期首の在寮者数は、白山寮（定員54人）が38人、市谷寮（同62人）は56人となった。

##### (2) 2024年度の新寮生募集

募集要項を2023年8月1日ホームページに掲載し、11月1日から同10日まで、エントリーシート方式により募集した。男女各15人の受け入れ枠に対して、応募者数は男子9人、女子27人。面接などを経て、男子9人、女子18人の計27人を合格とする事務局案をまとめた。24年1月16日開催の学寮運営委員会で同意を得た上で、同17日にホームページ上で公表した。男子の入寮予定者が少なかったことから、2月14日から男子のみ追加募集を実施。9人の応募者のうち、6人を合格とした。

大学不合格や受験先の変更により辞退した者がいたため、入寮者数は男子14人、女子15人となった。

#### 2. 学生寮の運営

##### (1) 寮生の自治

学寮の日常的運営については、白山寮、市谷寮でそれぞれ寮生が組織する委員会に委ねた。委員会の会議には、学寮長も参加し、議論を傍聴するとともに、必要に応じて助言した。

##### (2) 定例行事

対面式（入寮式）は2023年4月9日に、市谷寮で実施した。それぞれの寮で別途、歓迎会が開かれた。

夏季レクリエーションはバーベキュー大会を9月17日に行った。学寮の訓育活動の一環としてとらえ、学寮長も参加した。

創立記念式は10月15日に日本プレスセンタービルで開催した。寮生のほか、評議員、理事・監事、学寮運営委員ら100人以上が参加した。記念式典に先立ち、元日本銀行理事の山本謙三氏が講演を行った。

2024年1月14日に、「23年度中に20歳になる者」と「今春卒寮する者」を対象に、財団としての祝意を示すため、日比谷公園の松本楼で、会食方式で食事会を開いた。寮生のマナー講習を兼ねた。

TOEIC、インフルエンザ予防接種は例年通り補助金を出した。

### 3. 学生寮の大規模修繕

2024年に市谷寮が竣工20年、白山寮が10年を迎えるのを機に、大がかりな修繕に取り組むことを決めた。白山寮の建設を手掛けた株式会社安藤・間が、寮生らの要望も踏まえて、改修が必要な箇所を洗い出し、財団と協議の上、24年度に総額1億5,000万円規模の修繕を行うことになった。

## 【奨学金事業】

### 1. 2023年度の古野給付奨学金採用

2023年度の給付奨学金は5月10日から31日まで募集。7月5日に開催した奨学生選考委員会の審査を経て大学院生16人、学部生25人を採用した。

### 2. 奨学生研修会

2023年度第1回の研修会は9月12日にオンライン方式で開催した。講師はノンフィクション作家で毎日新聞契約記者の藤原章生氏と、コーディネーター役の元上智大学教授の橋場義之氏。

第2回は24年2月13日に日本プレスセンターで開催。橋場氏と共同通信社特別編集委員兼論説委員の杉田弘毅氏が講師を務めた。研修会後の懇親会には4年ぶりに大学事務局の奨学金担当者が加わり、初めての試みとして在京メディアの採用担当者も招待した。

研修会とは別に、奨学生同士の交流を深めることを目的とした懇親会を、23年7月20日に、日本プレスセンタービルで開いた。

### 3. 2024年度の奨学生事業と採用

奨学生募集要項を2024年2月1日にホームページに掲載した。引き続き大学の推薦を受けた者のみが応募できる形式を踏襲する。採用予定数は大学院生、学部生とも、それぞれ20人を維持した。

各大学の奨学金事務担当者を対象に、オンラインの説明会を23年11月9日に開いた。東京大、早稲田大など31校が参加した。

## 【収益事業】

引き続き、東京・渋谷の旧学寮跡地を、時間貸し駐車場を運営する日本パーキング(株)に貸与した。賃貸料収入は月額270万円。2023年度の年間収入額は3,240万円。

## 〔Ⅱ〕 管理部門の状況

### 1. 役員等の異動に関する事項

2023年6月14日の評議員会で次期理事・監事を選任した。理事14人のうち13人、監事2人はいずれも再任とし、退任した金重紘理事に代わって渡邊祐司氏を選任した。また補欠評議員として上崎正則氏を選任した。

### 2. 職員等の異動に関する事項

なし。

### 3. 会議に関する事項

▽2023年5月24日

#### ・2023年度第1回理事会

開催場所 日本プレスセンタービル1階 財団会議室

決議事項 2022年度事業報告及び附属明細書、2022年度決算、退任理事への退職慰労金、2023年度第1回評議員会招集

報告事項 理事・監事候補者、補欠評議員候補者、代表理事の職務執行状況報告

出席者 決議に必要な出席理事8名、出席13名、欠席1名、出席監事2名

▽2023年6月14日

#### ・2023年度第1回評議員会

開催場所 日本プレスセンタービル9階 日本記者クラブ会見場

決議事項 2022年度決算、理事選任、監事選任、補欠評議員選任、退任する理事への退職慰労金

報告事項 2022年度事業報告

出席者 決議に必要な出席評議員9名、出席17名、欠席なし、出席監事2名、出席理事2名

▽2023年6月14日

#### ・2023年度第2回理事会

開催場所 日本プレスセンタービル9階 日本記者クラブ会見場

決議案件 代表理事（福山正喜理事長、中村恒夫常務理事）選任

出席者 決議に必要な出席理事8名、出席理事12名、欠席理事2名、出席監事2名

▽2023年7月19日

・2023年度第3回理事会

開催場所 日本プレスセンタービル1階 財団会議室

決議事項 2023年度第2回評議員会招集

報告事項 2023年度奨学生選考結果、代表理事の職務執行状況報告

出席者 決議に必要な出席理事8名、出席14名、欠席なし、出席監事2名

▽2023年11月8日

・2023年度第4回理事会

開催場所 日本プレスセンタービル1階 財団会議室

決議事項 評議員・理事・監事報酬規定改正

報告事項 2023年度上期事業報告、2023年度上期決算報告、代表理事の職務執行状況報告

出席者 決議に必要な出席理事8名、出席14名、欠席なし、出席監事2名

▽2023年11月8日

・2023年度第2回評議員会

開催場所 日本プレスセンタービル9階 日本記者クラブ会場

決議事項 評議員・理事・監事報酬規定改正

報告事項 2023年度上期事業報告、2023年度上期決算報告

出席者 決議に必要な出席評議員10名、出席15名、欠席3名、出席監事2名、出席理事2名

▽2024年1月24日

・2023年度第5回理事会

開催場所 日本プレスセンタービル1階 財団会議室

決議事項 2023年度第3回評議員会招集、会計処理規則改正

報告事項 代表理事の職務執行状況

出席者 決議に必要な出席理事8名、出席13名、欠席1名、出席監事2名

▽2024年3月18日

・2023年度第6回理事会

開催場所 日本プレスセンタービル1階 財団会議室

決議案件 2024年度事業計画、2024年度収支予算と資金調達および設備投資見込み、同  
理事個別報酬額決定、役員賠償責任保険継続加入

報告事項 代表理事の職務執行状況報告、2024年度学寮入寮者選考結果

出席者 決議に必要な出席理事8名、出席14名、欠席なし、出席監事2名

▽2024年3月18日

・2023年度第3回評議員会

開催場所 日本プレスセンタービル9階 日本記者クラブ会見場

決議事項 なし

報告事項 2024年度事業計画、2024年度収支予算

出席者 決議に必要な出席評議員数10名、出席18名、欠席なし、出席監事2名、出席理事2名

4. 許・認可、承認に関する事項

なし。

5. 登記に関する事項

理事（重任13人、新任1人、退任1人）、監事（重任2人）の選任と、補欠評議員（1人）の選任を登記（2023年6月26日、東京法務局）。

6. 報告等に関する事項

- (1) 2022年度事業報告等を提出（2023年6月23日、内閣府）
- (2) 理事・監事・評議員の変更届出書を提出（2023年6月27日、内閣府）
- (3) 2024年度事業計画書等を提出（2024年3月18日、内閣府）

〔Ⅲ〕保有株式に関する報告

その株式の20%以上を保有している企業について、概要を報告する。

企業名 株式会社太平印刷社（非上場80万株・本社東京都品川区東品川1-6-16）

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) 資本金／事業内容 | 4,000万円／印刷業  |
| (2) 代表者／役員数  | 入原豊治代表取締役社長／3人   |
| (3) 保有株数／比率  | 20万株・額面50円／25%   |
| (4) 保有の理由    | 当財団発足時の母体であった（社）同盟通信社が解散した際、その印刷部門が独立創業した会社で、昭和49年増資時に一部資金を当財団から貸与した見返りとして贈与された。 |
| (5) 当財団との関係  | なし   |
| (6) 処分の見通し   | 同社には買い戻す資金的余裕がなく、適当な売却先も見つからないため、処分は困難である。                                       |

〔Ⅳ〕公益財団法人の運営に関する情報公開

行政庁に申請した2022年度事業報告及び附属明細書、決算書、2023年度事業計画書、収支予算書、資金調達および設備投資の見込みをホームページで公開した。

## 事業報告の附属明細書

2023 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しない。

以 上